



世界エイズデー 平成30年11月30日(金) 明石市立江井島中学校 保健室

## 12月1日は「世界エイズデー」です！

今回のテーマは「知っている、分かっている、AIDS IS NOT OVER」です。1981年、エイズの発見は、世界に大きな衝撃を与えました。それからエイズやHIVに対する知識はすいぶん広まっているにもかかわらず、HIV感染者数は増え続けています。なぜでしょうか？理由の一つに、「自分には関係ない」と考えている人が多いことがあげられます。あなたはエイズについて何を知っていますか？何ができると思いますか？この機会に考えてみましょう。



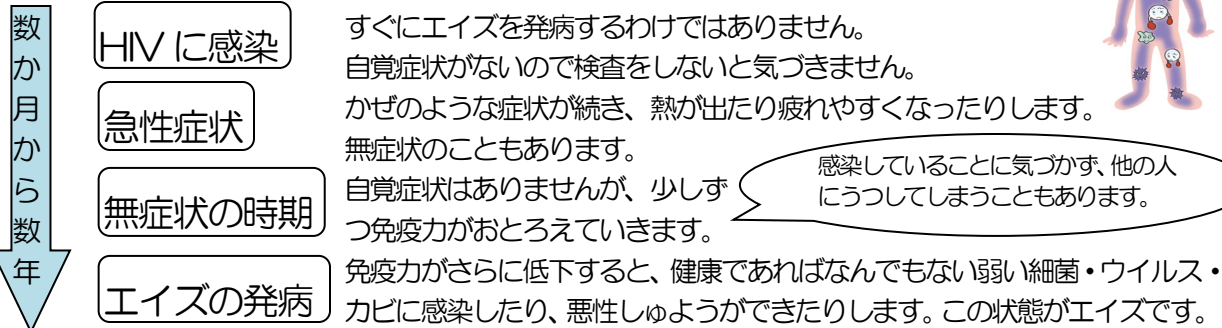
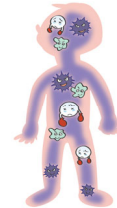
正しい知識こそ何よりのワクチンです

### エイズってどんな病気？

HIV（エイチアイブイ）感染症とエイズとの違い

エイズの原因となる病原体は、<sup>エイチアイブイ</sup>HIV（ヒト免疫不全ウイルス）で、リンパ球という白血球の中で増えます。HIVに感染すると、免疫の働きが次第に低下し、さまざまな感染症やがんなどの病気にかかりやすくなります。それらの病気が発症した状態を、エイズ（後天性免疫不全症候群）といいます。

エイズを発症するまで



感染していることに気づかず、他の人にうつしてしまうこともあります。

治療について

近年では治療方法が進歩し、HIVに感染しても早期に発見し定期的な受診を続け、必要に応じて薬を飲むことで、エイズの発病を抑えたり遅らせたりすることができます。でも、残念ながら完治する薬はできていません。

### エイズには「知る」ワクチン

HIVの感染経路は、すでにはっきりとわかっているので、予防することが可能です。HIVは、感染する相手を選びません。年齢も性別も関係なく、誰でも感染する可能性があります。誤解や間違った情報から、感染者・患者の人たちへの偏見や差別が今も存在しています。「エイズを正しく知る」ことで、感染予防、差別や偏見が生まれることも防げるのです。「知る」ことは、誰でも使える最良のワクチンです。



### HIVの感染経路は？

①感染者との性的接触

②注射器の共用  
(血液を介して)

③母子感染  
(出産や母乳など)

④輸血、  
血液製剤の使用

日本で最も多い感染経路は、性的接触です。

HIVを多く含む体液は、①血液 ②精液 ③膣分泌液 ④母乳です。

HIVが性器・肛門・口腔などの粘膜や傷口から体の中に入ることによって感染します。

感染経路は、4つに限られています

### このようなことでは感染しません！



日常生活ではHIVに感染することはないので、不安になる必要はありません。

## 性感染症について知っていますか？

性感染症とは、主に性行為でうつる病気のことで、性器同士の接触だけでなく、それ以外の体のねん膜や、皮ふの傷口などからうつることもあります。

性感染症は、自然に治ることはありません。専門医（泌尿器科・婦人科）の治療を受けないで放置していると、尿道や子宮、卵管などに炎症を起こし、不妊症や子宮外妊娠の原因になることもあります。また、性感染症に感染している母親から胎児へ感染し、流産や早産などの原因になることもあります。

元カレ、元カノ、その元カレ、元カノ…もしも自分の知らない誰かが感染していたら…

### 性感染症はこうやって広がっていきます

